



# 藤工図書館報

第56号

発行日  
令和6年3月1日発行  
発行  
藤岡工業高校 図書館

## 読書のススメ

校長 一場 哲夫



学校の学習は、どの科目も「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組み態度」の3つの要素をバランス良く育成することを目標に行われています。

ネットが発達した現代社会においては、知識や情報はインターネットで検索すれば十分だと思われがちですが、広い視野で自分の考えや感情と向き合うという経験は、インターネットで得た上辺だけの知識や情報では決して得られない、読書によってのみ得られるものです。

第二に、読書によって多くの論理的で正しい文章と多様な表現方法や語彙に触れることで、思考力や判断力、コミュニケーション力が向上します。このことは、その後の人生を豊かなものにしていくことにつながります。なぜなら人は、適切な思考・判断や語彙を駆使して行うコミュニケーションによって、他者と良好な人間関係を築き支え合いながら社会生活を送るものだからです。

第三に、読書は想像力を豊かにしてくれます。文字からのみ得られる情報・情景・心情などを自分の頭の中で膨らませて自分なりの世界を造りあげること、他者の心情を想像し尊重できる豊かな人間性を育むことができるでしょう。人の表情や情景等を視覚的に表現する漫画やテレビ・YouTube等では、こうした想像力を十分に高めることはできません。さらに、読書はメンタルヘルスにも好影響を与えます。読書にはリラックス効果がありません。さらに、読書にはリアルな現実から離れた想像の世界に没頭することで、自分の心を立て直してから現実へと戻ることが可能になるのです。

ここまで学習の3つの要素のお話をしましたが、タイトルの「読書のススメ」と何の関係があるのだろうかと思っただけの方もいるかもしれません。しかし、実は読書にはこの3つの要素をバランス良く鍛えるための栄養が、とても豊富に含まれているのです。

まず第一に、様々なジャンルの本を読むことで、新しい知識や情報を得て視野を広げることができます。例えば、自分とは異なる考えを持ち全く別の生き方をする著者の人生を知ること、それまでとは違った視点で自分の考えや感情と向き合うことができるかもしれません。高度にインター

ネットが発達した現代社会においては、知識や情報はインターネットで検索すれば十分だと思われがちですが、広い視野で自分の考えや感情と向き合うという経験は、インターネットで得た上辺だけの知識や情報では決して得られない、読書によってのみ得られるものです。

「フードロス」という言葉が一般的ではなかった頃に出会った本で、日本が飽食の一方で他国では飢餓で苦しむ現実を知り、驚きを覚えました。筆者は食べ物をテーマにし、世界中でさまざまな生活を経験することで、ニュースでは見えないリアルな描写を提供しています。著者の軽妙かつ深い洞察には定評があり、表紙からも感じる情熱と果てしないエネルギーが印象的です。ダツカの残飯やチエルノブイリ、アジアの猫のエサにまで及ぶエピソードには驚きます。高校時代に出会ったこの本は、私の20代の海外旅行への原動力となり、現実を確認するために旅に出るきっかけとなりました。

各先生の  
おすすめの  
本



読書を通して

世界に飛び込もう

機械科 田中惇博

これから海外旅行に行く機会がある皆様へ  
おすすめしたい本を2冊ご紹介いたします。

『もの食う人びと』

辺見 庸著 (角川文庫)

『インドなんて二度と行くか！ボケ!!』

さくら剛著 (アルファポリス文庫)



「オレの心は、次第に不安でいっぱいになってきた。」という言葉には、実際にインドを経験したことがある人ならニヤニヤが止まりません。商売人たちのやりとりについては、他のインドを舞台にした旅エッセイでもよく見られる要素ですが、押しの強いインド商人の鬱陶しさとそのコミカルな描写が引き込まれる要素となっています。私自身、「二度と行くか！」と思って出国したはずなのに、再び行きたい気持ちにさせられた本でした。特に、この本を読む前にインドへ行くことを考えている方には、「不浄の左手」という項目が必読です。インドにおけるトイレの所作が詳細に懇切丁寧にレクチャーされています。当時、私自身も相当に困惑したトイレでの仕方が、これを読めば十分に理解できるようになりました。将来的にインドへ出かける予定がある方には、ぜひおすすすめの一冊です。

この本をきっかけに新しい世界へ飛び込んでみるのも面白いですよ。

電子機械科 中島駿伍

『か「く」「し」「ご」「の」「の』

佐野よる著 (新潮文庫)

「君の睥睨をたべたい」で有名な佐野よるさんの作品です。ちょっぴり特別な力を隠している5人の高校生の物語で、自分の振る舞いや人との関わり方を考えさせられます。

地味な自分に引け目を感じている京くん。ヒロインよりもヒーローになりたいミッキー。体育会系で明るく人気者のツカ。ふざけているようで実は本気なバラ。控えて言いたいことを言えないエル。

各章がそれぞれの視点で描かれており、物語が進むにつれて明かされる特別な力や人間関係の変化に興味を引かれます。

か「く」「し」「ご」「の」「の」の意味、気になりませんか。知りたければ、ぜひ読んでみてください。



図書委員推薦本

今年度の図書委員の皆さんに好きな本などを紹介してもらいます。

『探偵はもう、死んでいる。』

二語十／著 KADOKAWA

私がこの本を選んだのは題名を見たときに興味をわいたからです。

この本のあらすじは、四年前、君塚君彦が飛行機ジャックの現場に居合わせてしまったところから始まります。彼は、隣の席に座っていた探偵シエスタに助手として指名されました。それから三年間冒険劇を繰り返して、そして死に別れました。

一人生き残った彼は、一年の間平穏な日々を過ごしていました。そんな時現れた夏風流という少女に出会い、物語は動き出します。

『君の名は』 新海誠／著

僕がこの本を選んだ理由は、面白く映画にもなっていて、みんなが手に取りやすいと思ったからです。みなさんも読んでみてください。

『群馬事件』 藤林伸治／著

群馬県で起きた事件などをまとめた本です。本の中身は、謎深く興味が湧くと思います。特に政治と歴史との関りに触れる内容が多く書かれていて、歴史が好きな私にとっては大変面白く感じました。歴史好きの人にはオススメです。

(1年生)

『ついでに子ども』

石田衣良／著 徳間文庫

私がこの本を選んだのは、子どもたちに慣れれば大人になっても慣れていると思い、子どものうちに基本を身に付けることは大切だと思った本だからです。

『おおかみごころの雨と雷』

細田守／著 角川文庫

私がこの本を選んだのは、大学生の花がおおかみおとこに恋をした物語から始まり、二人は愛し合い、2つの命を授かる。そして彼との悲しい別れもあり、二人の子供が違う生き方をしていくのが面白いからです。

『台所用具は語る』 神崎宣武／著

筑摩書房

私がこの本を選んだ理由は、本の中に写真が多く、わかりやすく読みやすく、本をあまり読まない私でもスラスラ読むことができたからです。

『新参者』 東野圭吾／著

講談社

私がこの本を選んだ理由は、作者の東野圭吾がとても有名で気になったからです。舞台は東京・日本橋で、内容はミステリーです。ストーリーが進んでいくにつ

れて、のめり込んでいきました。(2年生)

『小説版 るるるに剣心』

和月伸宏／著

マンガとして多くの人に馴染みがあり、テレビアニメなどでも身近で親しみある「るるるに剣心」ですが、小説版も話の構成が良くまとまっているのでオススメです。(2年生)

『1/2日分がとれる！』

カルシウムおかず

女子栄養大学栄養クリニック／著



この本はみんなの役に立つと思ったのでオススメです。カルシウムは体にとつて必要な栄養素であり、身長を伸ばしたい人には特にオススメです。楽に作れる料理から、ひと工夫必要な料理まで、幅広い種類のレシピがあつて、とても楽しめます。(2年生)

『情報公開法でとらえた』

沖繩の米軍

梅林宏道／著 高文研

私がこの本選んだ理由は、11月に修学旅行で沖縄に行き、戦争のことを学び、日本のことだけではなく、アメリカのこ

とを知ることができて、より戦争の知識を得ることができたからです。(2年生)

『第二次世界大戦5』

黒羽清隆／著 太平出版社

私がこの本を選んだのは、歴史に興味があるからです。この本はシリーズがたぐさんあるので、興味がある人はぜひ読んでみてください。(3年生)

『母性』

湊かなえ／著 新潮文庫

母と娘のそれぞれの視点で振り返っていくミステリー小説です。(3年生)

『ガンダムビルドファイターズ』

あすか正太／著 角川スニーカー文庫

僕がこの本を選んだのは、自分をガンダムと物を作るという世界に引き込んだからです。物語はイオリ模型店の店主の息子であるイオリ・セイと、彼が出会った謎の少年レイジが、様々なライバルたちとぶつかり合いながら、ガンプラバトルの世界大会を目指していきます。

見所のポイント：友情、絆、ライバル、微恋愛あり？

アニメとは少し異なる流れで物語は進んでいきます。(3年生)

『ヘイロー』

エリック・ナランド／著

この本は未知の敵との戦いに挑むスパルタン兵士たちの壮絶な物語を描き、戦略的な要素とキャラクターの深い描写が特徴です。緊迫感あふれる戦闘と未知なる敵に対する絶望的な戦いが、読者を引き込むことでしょう。(3年生)

『税金で買った本』

すいの／著

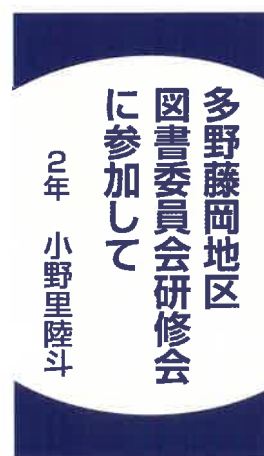
日常からは知ることが出来ない図書館の中で行われている仕事や様々な問題などを詳しく・面白く紹介しているので、ぜひ手に取って読んでみて下さい。また、本の面白さが伝わってくるのでオススメです。(3年生)

多野藤岡地区

図書委員会研修会

に参加して

2年 小野里陸斗



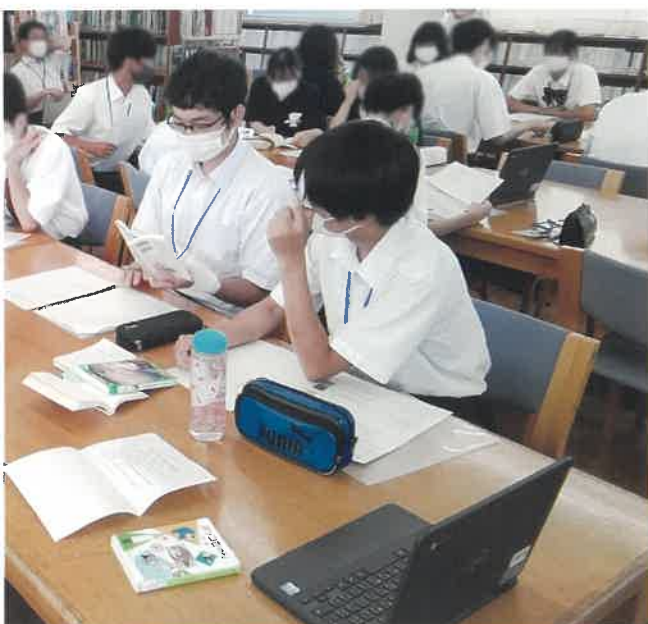
僕は夏休みに藤岡北高校で行われた多野藤岡地区図書委員会研修

修会に図書委員会の代表として参加しました。普段はあまり代表のようなことはやらないので不安でしたが、家で練習して自分なりの準備をして参加しました。

そして当日、僕たち藤岡工業高校の友達としか集まりました。最初は藤岡工業高校の友達としか会話が出来ませんでした。が、勇気を出して他校の人たちと軽く会話をしました。意外にも相手も乗り気で話してくれて、お

互い笑顔になるまで会話が盛り上がり、本当に一瞬で終わってしまったと感じ、終わってみればあっさりとしたものでした。

その中で2つ学ぶことができました。一つ目は、気になったことは実行すべきだということ、二つ目は本に関して関心を持つことです。自分の知らない楽しみを知れることは漫画だけだと思っていました。そうではないと実感することができました。今回の行事に図書委員として、代表として参加して良かったと思います。



# POP作成しました

図書委員会の活動の一環として、POP作成を行いました。今回は美術部にご協力頂き、デジタルのPOPから手書きのPOPまで、個性あるPOPが多数図書館に展示されました。書籍名、著者名、本の紹介文が書き込んであれば制限はなく、自由に作成できます。興味のある方は図書館をご覧ください。

また作成したい方も遠慮なく申し出て下さい。  
お待ちしております。

